

2025 年 11 月 29 日～12 月 7 日実施の防災クイズ(解答 & 解説編)

第1問 ×

むやみに外に出ようとする事で、群衆事故に巻き込まれる危険があります。ガラスや落下物に注意して、揺れがおさまるのを待ち、店員や係員の指示に従って行動しましょう。スーパーでは買い物カゴがヘルメットの代わりにもなります。

第2問 ○

後続の車に追突されないよう、ハザードランプを点け、ゆっくりと減速するのが基本です。安全のため車から離れる時は、キーをつけたままにして離れましょう。

第3問 ○

災害時に食べなれた食品がある事が、ストレスも溜まらずとても重要です。食事は、体だけでなく、心の栄養にもなります。好きなものがあり、口にすることができれば、制限された状況下でも、ひと息つける時間になるのではないのでしょうか。

第4問 ×

一か所にまとめてしまうと、何らかの状況で取り出すことができなくなった場合、困ってしまいます。家の中の安全な場所、取り出しやすい場所数か所に分け、保存することをお勧めします。

第5問 ○

被災地から遠く離れた場所では、電話が比較的つながりやすいことを利用した、より確実な連絡方法です。

第6問 ×

一般的にライフラインは、電気、水道、ガスの順に止まりやすいことを頭に入れておきましょう。

第7問 ○

避難所は、避難者が運営する場所です。行政や学校などの避難所管理者職員が面倒をみてくれるとの考えをまずは捨ててください。避難した住民らで役割や当番を決め、避難所での生活を運営していきます。被災の現状に心身ともに疲弊する中ですが、話し合い、協力し合うことで、徐々に生活の場となっていくます。

第8問 ×

連れていくことは可能ですが、飼い主と一緒に生活（＝同伴避難）ではなく、「同行避難」が原則です。柏市の避難所も、人との生活スペースを分けて対応せざるをえない状況です。ペットはかけがえのない家族である一方、動物に対して嫌悪感を抱く人、アレルギーのある人がいることも事実です。避難所での対応について、賛否分かれる難しい課題です。

第9問 ○

地震学、地質学等の専門家からの情報によると、令和30年の前後5年くらいで、高い確率での発生が明らかになっています。南海トラフ地震に誘発した富士山の噴火も現実味を帯びており、既に政府や東京都では、その注意喚起の動画も今年公表されました。

第10問 ×

最初に初期微動（P波）をとらえ、大きな揺れが来ることを伝えています。ちなみに「P」は Primary（最初の）、S波の「S」は Secondary（二番目の）の略号です。

☆上記内容へのご質問等はこちらにご照会ください。 ☎04-7157-3488 ✉boux2@kazakita.org